

# 町の防災対策と訓練は

## 10月までに地域防災計画を見直す

**薄葉** 町の地域防災計画の見直しについては東日本大震災の教訓が反映されているのか。

また、災害予防計画並びに災害応急計画の検証は、定期的に行っているのか。そして防災無線システムや備蓄倉庫の設置と耐震性飲料水兼用貯水槽など整備による全町民を対象とした総合防災訓練を実施する予定はあるのか。

**町長** 地域計画の見直しでは10月末までに矢吹町防災会議で決定を頂くよう進めています。

東日本大震災を踏ま



うすば 薄葉 よしひろ 好弘 議員

え、情報の伝達手段、災害時要支援者の避難、ボランティア活動との連携、避難対策、災害時の応援協定などについて町の対応策を盛り込む予定です。

災害予防計画や応急計画の検証の定期的見直しについては、必要に応じて修正をしております。

防災無線や備蓄倉庫飲料水用水槽の整備を、700名の避難者を想定して備蓄しているが、食料品・生活物資等について

では、コメリ等と災害援助協定を結んでいるので、備蓄は考えています。



備蓄庫（役場駐車場）

## 健康と福祉は（人間ドック・敬老会）

### 費用と検査項目の周知で受診率アップを図る

**薄葉** 特定健康診断による受診者数が昨年も低い受診率であるが何らかの対策や対応をしているのか。また、敬老会での表彰対象者は町から連絡して出席の要請を行っているのか。また、敬老会に配布される温泉無料券ですが、配布されても使用率が前年度を下回っております。使用されない原因と対策は協議されているのか。

**町長** 人間ドックについては、40歳から70歳までの5歳刻みを対象に、会田、白河厚生、南東北、白河病院を指定して実施しているが576名の対象者のうち121名の受診で21パーセントの受診率です。費用については1割から3割自己負担であることと充実した内容であることを周知して受診率の向上を図ります。

敬老会の案内関係では戸籍でないこと確認できないが、戸籍法上調査する



敬老会

ことは出来ないで自己申告をお願いしています。温泉無料券については平成27年度32パーセントであるのでPR方法を検討するなど利用率向上に努めます。

その他の質問事項  
・水田農業の振興について